

平成 28 年 7 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 VOYAGE GROUP
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 宇佐美 進典
 (コード番号：3688 東証第一部)
 問合せ先 取締役 CFO 永岡 英則
 (TEL. 03-5459-4226)
 (URL. <http://voyagegroup.com/>)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 7 月 22 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 10 月 28 日に公表しました平成 28 年 9 月期（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A） （平成 27 年 10 月 28 日公表）	百万円 18,500 ～20,500	百万円 2,000 ～2,400	百万円 2,000 ～2,400	百万円 1,200 ～1,500	円 銭 100.91 ～126.14
今回修正予想（B）	20,249	1,717	1,488	850	71.83
増減額（B - A）	1,749 ～△251	△283 ～△683	△512 ～△912	△350 ～△650	—
増減率（ % ）	9.5% ～△1.2%	△14.2% ～△28.5%	△25.6% ～△38.0%	△29.2% ～△43.3%	—
（参考）前期連結実績 （平成 27 年 9 月期）	17,730	2,238	2,189	1,646	146.14

2. 修正の理由

当期の経営方針として『中長期での成長のために M&A を含め積極的に投資を行っていく。』とした一方、主力事業であるアドテクノロジー事業における事業環境の変化が大きく、業績の変動可能性が高まっていることを勘案し、当期の連結業績予想をレンジ形式により開示しておりました。

連結売上高につきましては前回発表予想のレンジ内で進捗しているものの、連結売上総利益率が想定よりも低下しております。一方で当期の経営方針に基づいた先行投資の実施により、連結販売管理費は想定通りに計上される見込みであり、その結果、連結営業利益は前回発表予想のレンジを下回る見込みとなっております。

連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の理由に加え、持分法適用関連会社の損失取り込みや評価替え、円高による為替差損の計上等により、前回発表予想のレンジを下回る見込みとなっております。

なお、配当金につきましては、1株当たり10円の期末配当を予想しており、平成27年10月28日に公表した内容からの変更はございません。

個別の事業の状況は下記の通りであります。

① アドテクノロジー事業

売上高はサプライサイドで積極的に媒体社の開拓を行ったことに加え、デマンドサイドのプロダクトラインを強化したことにより計画を上回って推移しているものの、アドテクノロジー市場における競争が当初の想定よりも激しくなったため売上総利益率が低下し、売上総利益は計画を下回る見込みとなっております。一方で積極的な人材採用、インフラ投資やM&A等の先行投資を進め販売管理費は想定通りに計上される見込みであり、その結果、営業利益は計画を下回る見込みとなっております。

② メディア事業

売上高は主にPC向け広告商材やリサーチ商材での落ち込みを、新規メディアやスマートフォン向け商材で補いきれず計画を下回り、またそれに伴い売上総利益も計画を下回る見込みとなっております。生産性向上に努め販売管理費は計画よりも抑制される見込みであるものの、売上総利益の減少を補うまでには至らず、営業利益は計画を下回る見込みとなっております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上